

令和7年度 第4回理事会の開催

令和7年度 第4回理事会が令和7年9月24日、明治記念館・鳳凰の間において開催された。本理事会では、決議事項として4議案について諮られ、承認された。協議事項及び説明・報告事項の後、連絡事項として当面の主要会議等の開催計画に関する件の説明がなされた。第4回理事会の議事概要は下記のとおりである。

令和7年度 第4回理事会の議事概要

I 日 時 令和7年9月24日(水) 13:30~17:30

II 場 所 明治記念館・鳳凰の間

III 出席者

【会長】 蔵内勇夫

【副会長】 烏海 弘、西山治生、栗本まさ子

【専務理事】 伏見啓二

【地区理事】 田村 豊(北海道地区)

小山田富弥(東北地区)

宇佐美 晃(関東地区)

上野弘道(東京地区)

佐藤 博(中部地区)

長谷川哲也(近畿地区)

安食政幸(中国地区)

篠原公七(四国地区)

草場治雄(九州地区)

【職域理事】 佐藤れえ子(学術・教育・研究)

立川文雄(産業動物臨床)

森 尚志(小動物臨床)

吉武 朗(家畜共済)

島村 剛(家畜防疫・衛生)

梅田浩史(公衆衛生)

佐伯 潤(動物福祉・愛護)

【監事】 市川陽一朗、佐々木一弥、柴山隆史

【顧問】 酒井健夫、砂原和文、村中志朗

【欠席】 石橋朋子(特任)、北村直人(顧問)

IV 議事

【決議事項】

第1号議案 役員候補者推薦管理委員会委員の選任に関する件

第2号議案 日本獣医師会会長特別感謝状に関する件

第3号議案 諸規程の一部改正に関する件

第4号議案 賛助会員の入会に関する件

【協議事項】

本会事務・事業の経費削減・改善案に関する件

【説明・報告事項】

- 狂犬病予防法に基づく自治体事務のDX化等に関する件
- 世界獣医師会大会(WVAC)の日本開催に関する件
- 特別委員会及び部会委員会に関する件
- 令和7年度 動物愛護週間中央行事及び2025動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"に関する件
- 全国獣医師会会长会議に関する件
- 職務執行状況の報告に関する件(業務運営概況等を含む)
- その他

【その他の報告・連絡事項】

- 当面の主要会議等の開催計画に関する件
- 日本獣医師連盟の活動報告に関する件
- その他

V 会議概要

【開会】

事務局から定款第41条に規定された定足数を満たし、本理事会が成立することが報告され、開会した。

【会長挨拶(大要)】

本日はご多忙の中、令和7年度第4回理事会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

さて、去る6月25日、本会の第82回通常総会におきまして、私たちは今期の役員として選任されました。新たに2年間、皆様とともに心を一つにして、各種課題の対応に努めたいと思いますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いをいたします。

まず、先般の豪雨災害等で被災をされました皆様方、地域に対し、心からお見舞いを申し上げ、今後日本獣医師会としましてもしっかりとこの危機管理対応をしてまいりたいと考えております。

この8月末から、全国8地区で獣医師大会、獣医学会が開催をされており、私も中部地区大会に出席をいたしました。地方獣医師会や会員構成獣医師の皆様の生のご意見を直接お伺いすることができ、大変いい会であったと感謝をいたしております。その際、現在取り組んでい

る狂犬病予防法に基づく自治体事務のDX化についても意見交換をさせていただきました。本会で構築したシステムは、より確実な登録手数料の徴収に加え、将来的にはワクチン接種情報も一体的に運用することを見込んでおります。これらの取組を推進することにより、国民のニーズに応えるとともに、地方獣医師会、会員構成獣医師にとって、有用な事業となるよう尽力をしてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いを申し上げます。

また、ご案内のとおり、来年4月21日から24日までの間、東京国際フォーラムにおいて、第41回世界獣医師会東京大会を開催いたします。7月には米国ワシントンで開催された第40回世界獣医師会大会にも出席し、広く本大会を周知したところです。閉会式には東京都の小池百合子知事も出席いただき、東京都の大会招致の実現とともに、ワンヘルスの理念の下、動物と人とが調和して、共生できる世界の実現へ向け、取組を推進する旨のご挨拶をいただきました。

また、8月19日に、私はビル・ゲイツ氏にお会いすることができました。これまで福岡県で開催しておりましたワンヘルス国際フォーラムに、ビル・ゲイツ財団から講師の派遣をいただいたことのお礼と、来年の東京大会へぜひ参加をいただきたいと直接お願いをいたしたところです。本大会では会員構成獣医師にも満足いただけるよう、先進的かつ充実したプログラムを準備しておりますので、役員の皆様におかれましても国境を越えたワンヘルス実践活動のさらなる推進が図られるよう、特段のご支援、ご協力とともに、さまざまな機会において本大会をご紹介いただきますよう、よろしくお願いを申し上げます。

一方、本年1月に開催された仙台の年次大会会場において、第1回目の農場管理獣医師、認定獣医師の資格認定試験を実施し、7名の認定獣医師が誕生したところでございます。本年の第2回目の試験は、受験者の利便を考慮し、1月17日に東京と福岡の2カ所で開催することといたしました。今後、本認定獣医師を各農場の担当獣医師に位置づけ、養豚農場における豚熱ワクチン接種の方策等を含め、農場の飼養管理、経営管理等の全般に関する体制を構築し、わが国の家畜防疫の支援の強化に努めたいと考えております。

本日の理事会は新たな役員による初の会議となります。理事の皆様におかれましては、課題を解決に導く建設的なご提案をお聞かせいただく一方、本会議終了後、必ず地元地区の地方獣医師会及び会員獣医師、もしくは担当する関係職域の団体及び所属獣医師に対し、協議結果等を伝達、共有していただきたいと思います。さらには、事案に対するご意見等を徴取の上、次回の理事会でご披露いただきたいと考えております。

私は6月2日に、47都道府県議会議長会の会長に選任をされました。7月23日に47都道府県議会からの提出議案を議決いたしました。このとき、事務局から新たな特別議案として、ワンヘルスの推進、獣医師の待遇改善、産業動物獣医師の確保等が議題として上げされました。47都道府県議会議長の全員賛成で、承認をいただきました。これを踏まえて、翌日7月24日、官邸で47都道府県議会議長と、石破総理、林官房長官等諸大臣と、副官房長官はじめ官邸の役員、一堂に会する会議でこのことを強く総理に直接お願いをしてきたところです。

役員の皆様におかれましては、本会議終了後、地元地方獣医師会及び会員獣医師、もしくは担当する関係職域団体等へ協議結果等を伝達共有し、議案に対する意見等を聴取の上、次回理事会でご披露いただきたく、本会と地方獣医師会及び会員構成獣医師の架け橋となるきわめて重要な役割を担われますよう心からよろしくお願いを申し上げ、私の挨拶といたします。

【決議事項】

第1号議案 役員候補者推薦管理委員会委員の選任に関する件

伏見専務理事から資料に基づき説明され、異議なく了承された。

第2号議案 日本獣医師会会長特別感謝状に関する件

伏見専務理事から、前日本獣医師会副会長の砂原和文氏、前職域理事（家畜共済）の横尾 彰氏、前職域理事（公衆衛生）の加地祥文氏の3名に対し、日本獣医師会褒賞規程に基づき、日本獣医師会会長特別感謝状を授与することについて説明され、異議なく了承された。

第3号議案 諸規程の一部改正に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき、日本獣医師会育児休業・介護休業等規程の一部改正について説明された。

令和6年5月に、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」及び「次世代育成支援対策推進法」が一部改正され、2段階の施行のうち、令和7年4月1日付の施行については、すでに対応済みであり、今回は10月1日付で施行される内容に基づき、日本獣医師会育児休業・介護休業等の規程を一部改正し、「柔軟な働き方を実現するための措置等」として、3歳から小学校就学前の子を養育する労働者に対して、始業時刻等の変更、就業しつつ子を養育することを容易にするための休暇の付与を中心として対応する旨が説明され、異議なく了承された。

第4号議案 賛助会員の入会に関する件

伏見専務理事から資料に基づき説明され、異議なく了

承された。

【協議事項】

本会事務・事業の経費削減・改善案に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき本会事務・事業の経費削減・改善案について説明された。

【説明・報告事項】

1 狂犬病予防法に基づく自治体事務のDX化等に関する件

伏見専務理事から、犬の登録支援システムについて、7月に開催された事務事業推進会議でのご意見等も踏まえて自治体向け説明資料を修正したことが報告された。いわゆる特例参加自治体において狂犬病予防法における犬の登録手数料を無料化するケースが増えつつあることについて、本会のシステムを使えば手数料の収納が可能であることがあらためて説明され、本会から地方自治体に案内を行っているが、地方会からも自治体に働きかけていただきたい旨が説明された。

2 世界獣医師会大会（WVAC）の日本開催に関する件

伏見専務理事から、世界獣医師会大会の準備状況について、大会のスポンサー確保、プログラムの検討について、進捗が報告された。参加費については、世界獣医師会の設定価格である税込8万8,000円はあるものの、2月末までは早割として税込7万400円、1月末まではさらに超早割として税込5万2,800円と設定することが報告された。また、地方会で10名以上での申し込みがある場合に、適用金額の50%を割引くことについて対応を進める旨報告された。

3 特別委員会及び部会委員会に関する件

伏見専務理事から、特別委員会及び部会委員会に関する令和7年、8年度の検討テーマ及び委員等について、全体の進捗状況の説明がされた後、動物福祉・愛護部会について佐伯理事から説明が行われた。

4 令和7年度動物愛護週間中央行事及び2025動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”に関する件

伏見専務理事から、動物愛護週間中央行事（屋内）について資料に基づき報告された。

また、動物愛護週間中央行事（屋外）については、本年も日本獣医師会主催で開催している「動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」との合同開催として11月15日、10時から16時まで上野恩賜公園で開催することが報告された。

なお、前日の14日には明治記念館において「全国獣医師会会长会議」と同日の夕刻から動物感謝デーの関係者懇談会の開催を予定している旨報告された。

5 全国獣医師会会长会議に関する件

伏見専務理事から、全国獣医師会会长会議における常設正副議長について、定款施行細則に基づき、6月25日の第82回通常総会終了時点で前期の常設正副議長の任期は終了しているため、藏内会長から新たな常設正副議長を任命いただきたい旨、諮られ了承された。藏内会長から、議長に神戸市獣医師会の中島克元会長、副議長に福島県獣医師会の浦山良雄会長を任命することが報告された。

6 職務執行状況の報告に関する件（業務運営概況等を含む）

伏見専務理事から、本年6月1日から8月31日までの概況が説明された。続けて、北海道地区について田村理事から、東北地区について小山田理事から、関東地区について宇佐美理事から、東京地区について上野理事から、中部地区について佐藤（博）理事から、近畿地区について長谷川理事から、中国地区について安食理事から、四国地区について篠原理事から、九州地区について草場理事からそれぞれ説明された。

7 その他の事項

【連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

伏見専務理事から当面の関係会議等の開催日程が説明された。

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

伏見会計責任者から、関連会議への出席、要請活動等について説明された。

3 その他の事項

市川監事から、AIPOのマイクロチップ登録に対する今後の対応について、引き続きの地方会に対する丁寧な説明の依頼、組織・財政の健全化努力への謝意等が述べられた。

【閉会】

藏内会長から全ての議案が終了した旨報告され、円滑な議事進行への協力にお礼が述べられた後、事務局から閉会が告げられた。